

<特筆すべき取り組み一覧>

取組 No.	施設名	取り組み件名	ページ	講 評
1	キョウワグループ・テルサホール (福島テルサ)	「もっと知ろう! ふくしま」事業	2	高校生にテルサを日頃の活動の展示・披露の場として活用してもらったことで、多くの高校生の来館、当事者以外の高校生からの展示問い合わせ、市民からの感嘆の声などがあり、若い世代である新規利用者の開拓、文化芸術の交流及び振興のための活動の支援に寄与した取り組みである。
2	アクティブシニアセンター	講座・展示・出前講座の連携講座	3	福島駅東口駅前再開発に伴い、マスコミの協力を得ながら昔(昭和30年代)のまちのにぎわいの様子等の展示、当時のニュースの放映、また、実際にマスコミ本社への訪問及び映画館の聖地巡礼としてまちなか散策を行ったことで、多くの市民が来場し、にぎわい創出に寄与した取り組みである。
3	飯坂温泉観光会館	イベント開催	4	県内外から多くの店舗が参加したハンドメイドマルシェを開催し、1日で4,000人を超える来場者でにぎわい、本市の観光スポットの一つである飯坂地区へ多くの人の流れが生まれ、観光の振興に寄与した取り組みである。
4	旧堀切邸	イベント開催(体験・共催)	5	「飯坂温泉日本一の桃祭」を共催し、市内の果樹園や和菓子店を中心に本市特産品である桃、桃のスイーツの販売を行い、多くの来館者があった。地域振興の拠点の一つとして、施設だけではなく、地域全体を盛り上げようとした取り組みである。
5	UFOふれあい館	UFOの里の聖地化プロジェクト	6	UFOの里の聖地化プロジェクトの一環としてイベントを開催し、UFOの里の町を全国に発信したことで、新たなUFOファン獲得に貢献し、入館者数、売上ともに伸ばすことにつながった取り組みである。
6	道の駅ふくしま	「つながるフェア」の開催	7	地域間連携フェア(豊橋、沖縄、栃木)を展開し、その地域の食や文化を通じて来場者の満足度向上に努め、また、本市の魅力も全国に発信できたことで、地域間の相互交流を促進することに寄与した取り組みである。
7	四季の里	イベントの開催	8	初めて大型イベント「ふくしまラーメンショー2023」を誘致・開催し、利用者の満足度向上と来園者数の大幅な増加に繋がった取り組みである。
8	ヘルシーランド福島	クリーンアップランニングの実施	9	健康増進と周辺地域の環境美化活動を組み合わせたクリーンアップランニングを実施することで、新規利用者の開拓と地域貢献に寄与した工夫した取り組みである。
9	春日町デイサービスセンター	シナプソロジーの実施	10	シナプソロジー(2つのことを同時に行う、左右で違う動きをすることで脳に刺激を与え、脳の活性化を図るプログラム)を実施することで、認知機能の向上につながり、利用者の福祉の向上、利用者の満足度向上に寄与した取り組みである。
10	古関裕而記念館	能登半島地震復興祈念チャリティーコンサート開催	11	全国声楽アンサンブルコンテストに参加する団体に呼びかけをして賛同した団体と合同で能登半島地震復興祈念チャリティーコンサートを開催し、募金を送ることができた。被災地へのエールを送るとともに、会場は満席となり来館者の満足度向上に寄与した取り組みである。
11	写真美術館	「コスプレ@花の写真館」開催	12	大正ロマンを感じさせる施設空間をいかして、近年人気が高まっているコスプレイヤーの撮影ロケーションとして活用する機会を設け、利用者からは次回開催を熱望された。また、若年層の施設利用により、SNSの拡散力により施設の知名度向上に寄与した取り組みである。
12	こむこむ館	企業等の協力によるワークショップ及びイベントの開催	14	市内外の企業等と連携しワークショップ及びイベントを開催したことで、子どもたちが企業の高い技術力などを直接体験したり、その技術力が社会にどのように活かされているかを学習することができ、次代を担う創造性豊かな子どもの育成、子どもの夢を育むことに寄与した取り組みである。

【No. 1】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	福島テルサ
指定管理者名	公益財団法人福島市振興公社

○特筆すべき取り組みの概要

「もっと知ろう！ふくしま」事業

ふくしまの未来を担う高校生を応援し、さらなる活動意欲向上と飛躍の一助となることを目的とし、日頃の成果の展示や、実演の機会を創出。

7月は福島西高書道部「書道アート展」、8月は東稜高校科学部「きらり★ふくしまの宙 天体観測」、10月は福島西高デザイン科「黑板アート展」、令和6年2月は学法福島エコラン研究部「EVエコランカー展示」を開催。

同級生の活躍を鑑賞しに、普段はテルサに訪れることがない高校生が多く来館し、若い世代への認知度向上にも繋がった。

また、自分達の部活も展示可能かとの問い合わせもあり、展示当事者のみならず多くの高校生にとっても良い刺激となったことが伺える。

来館された市民の方からは「このような部活があるとは知らなかった」、「本格的で驚いた」など大きな大会がある運動部とは異なり活動が見えにくい文化部の活躍に、感嘆の声と展示に対する感謝のお言葉を頂き、次世代の成長と福島テルサのイメージ向上に貢献した。

○取り組み状況等



【No. 2】特筆すべき取り組み状況報告書

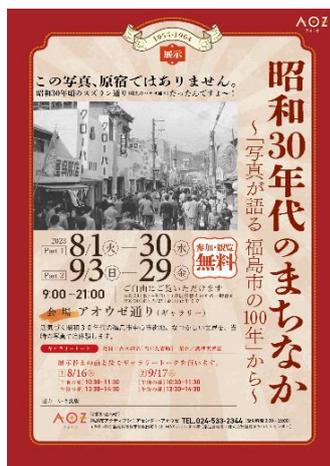
施設名	福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ
指定管理者名	株式会社福島まちづくりセンター

○特筆すべき取り組みの概要

《講座・展示・出前講座の連携講座》
 福島駅東口駅前開発に関連して福島民報新聞社、福島民友新聞社、福島テレビ(株)の協力を頂き、賑やかであった昭和30年代の福島市内まちなかにスポットをあて、「昭和30年代のまちなか」と題し、展示と講座、遠足(出前講座)を連携させた事業を実施した。

○取り組み状況等

<昭和30年代のまちなか ポスターチラシ>



<関連新聞記事>

R5. 7. 17 福島民報 「昭和30年代のまちなか展」



R5. 10. 18福島民報

<展示パネル>



【No. 3】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	飯坂温泉観光会館
指定管理者名	福島市観光開発（株）

○特筆すべき取り組みの概要

令和5年8月5日～8月6日の2日間「ものづくりワークショップ」を開催。コロナによる行動自粛も解除となり、夏休み期間中の思い出作りを提供したいと考え、主に子供を対象としたワークショップイベントを企画・開催。来場者は2日間で923名となった。外部講師として「福島市名工会」を招き、光る泥団子・ミニ畳づくり体験なども実施。工人の技術を楽しく学ぶ機会を提供することを可能とした。

また、令和5年9月17日「One step space inパルセいいざか」を初開催。若手ハンドメイド作家と協力をし、当館コンベンションホールを含む全館を使用して大規模なハンドメイドマルシェイベントを企画・開催した。県内外から100店舗を超える人気の作家達が集結したことから、当日は4,000人の来場者で賑わった。合わせて、主催者や出店者によるSNSでの告知などにより当館のPRに大きく貢献することとなった。

また、当館の閑散期となる1月の有効活用方法として同イベントを小規模にて開催した。当日は雨天にも関わらず1,000人の来客があり、午後には商品完売となる店舗もあったことから、出店者の売上も好調であった。また、弊社でも販売ブースを設け、地元菓子店と協力し、おしるこ・和菓子の販売を行う等、地元企業のPRにも大きく貢献をした。

○取り組み状況等



←「夏休みワークショップ」

工人の技術を楽しく体験できるコーナーを設置



←左：「One step space inパルセいいざか」2024.9.17開催時

約4,000人の来場者でにぎわった

←右：「One step space inパルセいいざか」2025.1.21開催時

地元菓子店と協力。おしるこや和菓子の販売を行い地元企業のPRへ貢献を行う

【No. 4】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	福島市旧堀切邸
指定管理者名	福島市観光開発株式会社

○特筆すべき取り組みの概要

飯坂温泉日本一の桃まつり(来館者4,184人)では、福島市の桃の消費量が日本一ということで市内の果樹園や和菓子店を中心に桃の販売会や桃を使用したスイーツの販売を行った。イベント出演者や出店者、来館者のSNS投稿により旧堀切邸のPRにもつながった。

○取り組み状況等

飯坂温泉日本一の桃祭



【No. 5】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	UF0ふれあい館
指定管理者名	(株)飯野町振興公社

○特筆すべき取り組みの概要

今年度も、UF0の里の聖地化プロジェクトの主なイベントとして下記の事業を行いました

11月11日 UF0フェスティバル開催(イベント広場)入場者2,500人

11月12日 三上所長と行く千貫森ミステリーツアー参加者200人

6月24日 UF0研究所活動報告会、YouTube同時配信、三上所長ほか

(UF0の日) 三上所長と行く千貫森ミステリーツアー・飯野のうまいもの市の開催
イベント参加者総数1,000人 ふれあい館入館者500人(入場料無料)

結果的に昨年同様各イベントとも大盛況で終わることができ、UF0の里の町を全国に発信できたことは、大きな成果であったと考えております。

なお、今年度のふれあい館の入館者は19,876人 物産館売上は18,815千円と順調に業績を上げることができました。

○取り組み状況等



UFOフェスティバルの様子



UFO研究所 集合写真

【No. 6】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	道の駅ふくしま
指定管理者名	(株)ファーマーズ・フォレスト福島支店

○特筆すべき取り組みの概要

「つながるフェア」の開催

連携地域や、自社の強みである他拠点(沖縄・栃木等)と連携したフェアを開催することにより、お客様に楽しんでいただくと同時に、地域間の経済、文化などの連携を図る取り組みです。R5年度より「●●つながるフェア」として、地元のお客様に楽しんでいただける人気企画にすべく取り組んでおります。

R5年度の実績

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 6月7日～27日 地域間連携 沖縄フェア | ※ 開業以来のフェア初開催 |
| 7月30日～8月12日 地域間連携 豊橋フェア | ※ 福島市パートナー協定における取組 |
| 1月18日～31日 栃木つながるフェア | ※ 道の駅うつのみやろまんちっく村コラボ |
| 3月1日～31日(R6年5月まで継続) 北陸応援つながるフェア | ※ 能登半島地震の復興支援 |

○取り組み状況等



沖縄フェアでは、レストランで福島県産素材を使用して現地のレシピを再現したタコライス、そめんチャンプルーをフェアメニューとして提供しました。



福島市がパートナーシップ協定を締結した豊橋市の商品を、道の駅とよはしとの連携によりコーナー展開しました。豊橋の手筒花火の展示など、豊橋を知る機会になりました。



道の駅ふくしまキャラクターの雪うさぎとシーサー

栃木つながるフェアは、GIマーク取得のブランド葱「新里ねぎ」の生産者がお越しになり、試食販売を行いました。レストランではこの新里ねぎと相馬のあおさを使用したピザを提供しました。



北陸応援つながるフェアは三か月程度実施いたします。同時に募金箱の設置もおこなっております。菓子のみならず、加工食品やお酒(加賀梅酒)も好評で入荷が滞るほど好調な販売になっております。

【No. 7】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	福島市農村マニファクチャー公園 四季の里
指定管理者名	福島市観光開発株式会社

○特筆すべき取り組みの概要

5月の大型連休期間に指定管理者の自主事業と合わせて、大型イベント「ふくしまラーメンショー2023」を誘致・開催し、利用者の満足度向上と来園者数の大幅な増加に繋がった。（月別来園者数：R4.5 33,738名、R5.5 93,669名）

○取り組み状況等

<ふくしまラーメンショー2023>

開催日：令和5年5月2日（火）から7日（日）

開催時間：10時から19時（最終日は17時迄）

来園者数：63,356名

主催：福島中央テレビ

その他：期間中に自主事業として「朝市」を開催。
延べ30店舗の出店があり、会場を盛り上げた。



【No. 8】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	ヘルシーランド福島
指定管理者名	公益財団法人 福島市振興公社

○特筆すべき取り組みの概要

【クリーンアップランニングの実施】

- 1 概要 新規利用者の開拓を目的に取り組んでいる自主事業のグループランニングについて令和5年度は、クリーンアップランニングという新たな要素を取り込んで実施した。
- ※グループランニング
複数人で市内をランニングした後、ヘルシーランド福島にて入浴・休憩するもの
- 2 実施日 ①11月26日 ②12月17日 ③2月4日 ④2月18日 ⑤3月17日 計5回
- 3 経路 ①信夫山 ②嵯川・県庁周辺 ③信夫が丘・嵯川 ④渡利地区 ⑤嵯川・市役所周辺
- 4 参加人数 ①5人 ②4人 ③6人 ④6人 ⑤6人 ※一般参加人数（このほか毎回職員2名参加）
- 5 成果 グループランニングの新たな取り組みとして、走りながらゴミを拾うクリーンアップランニングを合計5回、延べ27人の参加で開催した。クリーンアップランニングは気軽に取り組める社会貢献として注目されているSDGsスポーツで、ゴミを拾い終わった後の達成感、爽快感という魅力がある。参加者からは「福島市内での開催は珍しく、まるで宝探しのように楽しく、気持ちが晴れやかになる体験ができた。是非今後も参加したい。」との感想を頂戴するなど新規利用者の開拓という目的は、一定程度達成出来た。尚、45リットルゴミ袋で各回とも2袋、累計10袋のゴミを回収。

○取り組み状況等

2月4日 第3回 あぶくま親水公園にて（一般参加者6名、職員2名（内1名撮影））



【No. 9】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	福島市春日町デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人創世福祉事業団

○特筆すべき取り組みの概要

シナプソロジー（五感や認知機能へ新たな刺激を与え脳を活性化させるプログラム）を引き続き実施しております。シナプソロジーは、利用者に定着してきており、利用者の意欲も以前より感じられます。参加することで脳の活性化となり、日常が楽しくなることを伝えながら、参加意欲を高めてきました。

利用者から「デイサービスが楽しい。」、「みんなに会えることが楽しみ。」、「最近物忘れが気になっていたのですが、こういうプログラムはありがたい。」、との声も多く聞かれています。また、各事業所へのチラシの配布や見学に来られたご本人やご家族に体験していただくことで、デイサービスへの興味を引くきっかけとなっております。

○取り組み状況等

シナプソロジーの様子



【No. 10】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	福島市古関裕而記念館
指定管理者名	公益財団法人福島市振興公社

○特筆すべき取り組みの概要

能登半島地震復興祈念チャリティーコンサート開催

日時 令和6年3月23日(土) 15:00開演

出演 コマツHAPPYMELODY(石川県)
不來方高等学校音楽部(岩手県)
熊野小学校合唱クラブ(山口県) 総勢77名

観客数 80人
募金額 12,940円

内容

以前より東日本大震災復興のためコマツHAPPYMELODY少年少女合唱団と記念館がミニコンサートを開催していたが、令和6年1月1日発災した能登半島地震を支援するため、復興祈念チャリティーコンサートを企画した。
全国声楽アンサンブルコンテストに参加する団体に呼びかけをして賛同する2団体と合同で開催した。当日は、不來方高等学校音楽部の知名度で定員の80名を集客することができ、成功裏に終了した。

○取り組み状況等

能登半島復興に
エールを送るコンサート
@古関裕而記念館

コマツHAPPYMELODY
下関市立熊野小学校合唱クラブ
岩手県立不來方高等学校音楽部

3月23日(土)
15時開演
古関裕而記念館1階ラウンジ

《演奏予定曲》
古関裕而作品を中心に
ふるさと ほか…お楽しみ!

♪会場に、能登半島地震復興のための募金箱を設置いたします〜ご協力お願いします
♪コンサートは無料ですが、古関裕而記念館への入場には通常の料金がかかります
♪満席の場合は〜立ち見になります〜ご容赦ください

主催・福島市古関裕而記念館 企画・一般財団法人ワンアース
令和6年度「復興」支援事業

【No. 1 1】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	福島市写真美術館
指定管理者名	公益財団法人 福島市振興公社

○特筆すべき取り組みの概要

【催事名】(公財)福島市振興公社 賛助会事業「コスプレ@花の写真館」
【開催日】令和5年10月28日(土) 13時～19時
【会場】全館
【来場者】22人(定員上限)

(公財) 福島市振興公社による主催事業。
当館の設置理念である「文化財の活用」に基づき、大正時代に建築され、福島市有形文化財である当館の新たな活用方法(ユニークベニュー)として企画。
近年人気が高まっているコスプレイヤーの撮影ロケーションとして活用する機会を設けることで若年層に足を運んで頂くきっかけを作った。
また、彼らのSNSの拡散力によって当館や事業の知名度向上を狙った。
近年は『鬼滅の刃』など大正時代を舞台とした漫画・アニメ作品もあるため、潜在的な需要の掘り起こしを図った。

告知後すぐに定員20名を越えてしまうほどの申し込みがあった。
参加者アンケートでも満足度が100%となり、次回開催を望む声が多く寄せられた。

○取り組み状況等

(公財)福島市振興公社 賛助会事業 「コスプレ@花の写真館」



令和5年度(公財)福島市振興公社 賛助会事業

『コスプレ@花の写真館』

2023年10月28日(土) 13時～19時

撮影提供
予定場所

《1階》展示室1・2・3、《2階》多目的室、旧所長室
《その他》エントランス、階段、廊下、正面敷地(駐車場)

事前申込制



『呪術廻戦』五条悟先生の
高い椅子もありませんよ！

参加料

コスプレイヤー / 800円(更衣室料・入館料含む)

カメラマン / 500円(入館料含む)

※コスプレイヤーとカメラマンを兼任の場合はコスプレイヤー料金が適用されます。

コスプレイヤー用 更衣室あり。

特典

業務用Canon大型プリンター

imagePROGRAF PRO-1000を使いA4サイズの
写真1枚プリントサービス!

ご希望の写真を1枚プリントいたします。

申込方法など詳しくは
ホームページをご覧ください→

福島市写真美術館

検索



福島市写真美術館
(花の写真館)

〒960-8002 福島県福島市森合町11番36号
TEL 024-563-4990 FAX 024-563-4992



【No. 1 2】特筆すべき取り組み状況報告書

施設名	福島市子どもの夢を育む施設「こむこむ館」
指定管理者名	公益財団法人福島市振興公社

○特筆すべき取り組みの概要

<夢のたねコンソーシアム事業（企業等の協力によるワークショップ及びイベント）>
普段目にすることができない企業や団体の高い技術や専門性を直接体験するとともに、その技術や活動が社会にどのように活かされているかを学習し、将来の夢を育むきっかけとする。

○取り組み状況等

別紙のとおり

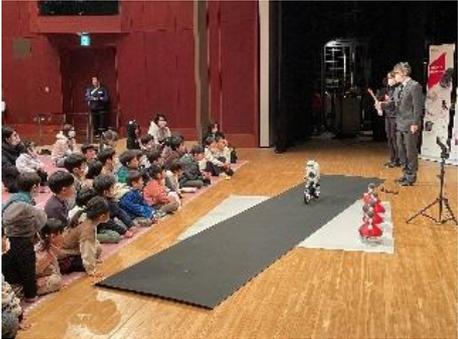
特筆すべき取り組み状況

別紙

主な事業名	内容	実施日	入場者数
<p>フマキラーがやってくる フマキッズこども研究所</p> <p>協力：フマキラー（株）</p>	<p>殺虫剤はどうしてあるのか？みんなの命と暮らしを守るために、色々な研究をしているフマキラー（株）の講師によるワークショップ。</p>	4月16日	76人
<p>ミニ四駆マンモスコースレーシングイベント</p> <p>協力：(株)タミヤ、SEKIYA</p>	<p>(株)タミヤの協力によるミニ四駆のレーシングイベント。司会には業界で有名なMCガッツが登場。</p> 	5月27日 ～5月28日	216人
<p>香りの魅力ーオリジナル香水を作ってみようー</p> <p>協力：曾田香料（株）</p>	<p>香りの歴史や役割など講話を頂き、香水作りを実施。</p> 	6月10日	19人
<p>けん玉に挑戦してみよう！</p> <p>協力：日本けん玉協会福島県支部</p>	<p>第35回全日本少年少女けん玉道選手権大会 東東北ブロック地区予選会が開催。合わせて日本けん玉協会福島県支部指導員によるけん玉ワークショップを開催。</p>	6月10日	200人
<p>こむこむプラージュ 2023</p> <p>主催：NPO 福島 SAND-STORY 協力：福島大学・福島学院大学</p>	<p>巨大砂場・サンドアート。子どもライブラリー前の屋外スペースとにぎわい広場で実施。</p> 	7月1日	800人

<p>ウン知育教室</p> <p>協力：福島ヤクルト販売（株）</p>	<p>福島ヤクルト販売（株）の講師による「ウンチ」を使った腸内環境を勉強するワークショップ。大きな絵本での読み聞かせや元気たいそうなどで、楽しく学べる未就学児向けのワークショップ。</p> 	<p>7月17日</p>	<p>28人</p>
<p>野菜と果物を食べよう！</p> <p>協力：ヨークベニマル（株）</p>	<p>ヨークベニマル（株）の講師による野菜や果物を使ったワークショップ。SDGS やバランスの良い食事について楽しく学ぶことができるワークショップ。</p> 	<p>8月2日</p>	<p>19人</p>
<p>食育 夏の巻 福島の桃をつかったデザートづくり</p> <p>協力：吉川屋料理長</p>	<p>福島の魅力を再発見し、福島の名産である桃をつかった美味しいデザートづくりのワークショップ。</p> 	<p>8月17日</p>	<p>11人</p>
<p>子ども船長全速前進</p> <p>協力：日本郵船（株）</p> <p>※東北初</p> 	<p>操船シミュレーションを使って船の操舵体験をし、エンジンキットでエンジンの分解。</p> <p>” 郵船みらいプロジェクト ” の一環として、日本の未来を担う若い世代に海事思想を普及し、船員という職業の魅力を伝えることで、海運業の認知度を高め、船員を志す人を増やすことを目的としたワークショップ。</p> 	<p>9月16日</p>	<p>30人</p>

<p>ウイナー飾り切り教室</p> <p>協力：日本ハムカスタマー・コミュニケーション（株）</p>	<p>食と健康について座学で学んだあとに、お弁当やパーティーを彩る華やかなウイナー飾りをするワークショップ。</p> 	<p>10月7日</p>	<p>39人</p>
<p>LED について学ぼう～ペットボトルをつくってみよう～</p> <p>協力：福島サンケン（株）</p>	<p>二本松市でLED製造を行う老舗企業の福島サンケン（株）講師による、LEDライトと基板、そしてペットボトルを使ったワークショップ。</p>	<p>10月21日</p>	<p>19人</p>
<p>インフラの魅力を発見！ 福島県にある橋や野球場を紙でつくろう</p> <p>協力：福島県土木企画課</p>	<p>身近なインフラの役割や構造を紙で作る模型（ペーパークラフト）を組み立てながら学ぶワークショップ。</p> 	<p>10月22日 2月24日</p>	<p>35人 37人</p>
<p>食育 秋の巻 秋の食材 変わり茶碗蒸し</p> <p>協力：吉川屋料理長</p>	<p>日本料理の魅力を再発見、秋の旬の食材を使ったワークショップ。旅館で使用しているお出汁を使って作る貴重な体験をして頂く。</p>	<p>11月19日</p>	<p>10人</p>
<p>栄養士さんのおはなし会 ※対象0歳～1歳（目安） 協力：江崎グリコ（株）</p>	<p>離乳食マンネリ化中の会、赤ちゃんを災害から守る勉強会を開催。パパやママがかかえる不安を、両社それぞれのノウハウを生かし、楽しくサポートしたいという思いにより実現しました。</p>	<p>12月4日</p>	<p>31人</p>
<p>発見！チョコレートのひみつ 協力：（株）明治</p>	<p>チョコレートという身近な食品を通じて、その向こうにある自然の恵みや歴史・国際協力について学ぶワークショップ。</p> 	<p>12月25日</p>	<p>25人</p>

<p>親子でオリジナルのビニール傘をつくろう</p> <p>協力・講師：(株)OKI データMES</p>	<p>特殊な印刷技術を駆使して、オリジナルのビニール傘を作るワークショップ。</p> 	<p>12月26日</p>	<p>12人</p>
<p>冬休み！にちぎん親子出前授業</p> <p>協力：日本銀行</p>	<p>日銀って何をしているところ？日銀ってどんなところ？そのような子どもの好奇心にお応えするワークショップ。体験学習として、お札の偽造防止技術やお札の数を学ぶ他、一億円の重さを体験して頂くワークショップ。</p> 	<p>12月26, 27日</p>	<p>34人</p>
<p>おなか元気教室</p> <p>協力：福島ヤクルト販売(株)</p>	<p>早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち、をテーマとして、健康のために、正しい食生活、生活習慣を身につけてもらうことを目指し実施するワークショップ。</p>	<p>1月8日</p>	<p>20人</p>
<p>東北村田製作所がやってくる</p> <p>協力：(株)東北村田製作所、(株)村田製作所</p>	<p>電池の材料や仕組みを学べるキットを使って簡単に電池をつくるワークショップと村田製作所のロボットによるパフォーマンスで電子部品の凄さを感じて頂いた。</p> 	<p>1月27日</p>	<p>273人</p>
<p>コミュタン福島がやってくる！</p> <p>協力：コミュタン福島</p>	<p>サイエンストーク、オリジナル羽根ストラップ、市外線で色が変わるアクセサリ作り等の出張イベントを開催</p>	<p>2月10日</p>	<p>100人</p>

<p>食べるって楽しい！マヨネーズ手作り体験</p> <p>協力：キューピー（株）</p>	<p>野菜やマヨネーズについて座学で学び、マヨネーズづくりに挑戦するワークショップ。</p> 	<p>2月11日</p>	<p>20人</p>
<p>プリンターの分解</p> <p>協力：福島キャノン（株）</p>	<p>プリンターやカメラ製造を行う老舗企業の福島キャノン（株）講師によるワークショップ。プリンターをドライバーなどの工具で分解し、金属とプラスチックに分けられ、それぞれがリサイクルされることを確かめながら工業製品の仕組みを学ぶワークショップ。</p>	<p>3月20日</p>	<p>20人</p>
<p>マルちゃん「発見！お米のひみつ」</p> <p>協力：東洋水産（株）、フクシマフーズ（株）</p>	<p>毎日の食卓に欠かせないお米の特徴や性質について学び、オリジナルの炊き込みご飯をつくるワークショップ。</p> 	<p>3月26日</p>	<p>18人</p>
<p>プラノサウルス組み立て体験会</p> <p>協力：（株）バンダイ、SEKIYA</p>	<p>春の企画展「こむこむ恐竜ランド」に合わせて恐竜の骨格等を自分で確かめながら組み立てヴェロキラプトルをつくるワークショップ。</p> 	<p>3月31日</p>	<p>38人</p>

施設名：福島市子どもの夢を育む施設「こむこむ館」
指定管理者：公益財団法人福島市振興公社